



## 地域連携の部屋

このコーナーでは、徳島大学病院が徳島県や他の医療機関の皆さま等と協力し、患者さんへのよりよい医療の提供を目指してすすめている、様々な取り組みについて取り上げます。

### Vo.10 地域連携病院⑤ 「水の都記念病院」

今回は地域医療中心に取り組む水の都記念病院をご紹介します。

#### ■かかりつけ患者様重視の診療体制

「当院では昭和2年の開院以来、近隣の地域住民の皆様の健康に貢献できるよう、『かかりつけ患者様重視』を経営理念に掲げ、常に全職員が一丸となって終始一貫して取り組んできました」と佐々木克哉院長(45歳)

内科、消化器外科、脳神経外科を始め、整形外科領域の診療部門があり、民間病院ならではの医療を目指しているとのこと。

「大学病院には、総合力や先端医療という大学病院の良さがあり、民間病院には、機動力や柔軟な診療体制ができるという良さがあります。競い合うことに意味はありません。お互いの良さを活かせる努力・工夫をしています」

徳島大学病院で先進医療を終えた患者様の受入を充実させ、連携することによりお互いの良い点を出し合うことを大切にしているそうです。

また、以前から地域医療領域での協力病院として臨床研修医を受け入れており、年間を通して若い研修医が活躍することが院内全体の活性化につながっているそうです。

「研修の場を提供するだけでなく、私たち自身が若

い研修医から刺激を受けることがたくさんあります。互いに学びあえるのはいいですよ」と朗らかに語っていました。

#### ■地域医療連携病院としての今後

昨年からは、回復期リハビリテーション病棟を開設し、これまでの急性期脳卒中リハビリテーションに加えて、より充実したリハビリを施すことで患者様の在宅復帰を支援しています。

「19床を追加して、在宅復帰の連携パスに注力しています。大学病院などで急性期医療を終え、リハビリ中心となった患者様の受入が今まで以上に行えるようになりました」

水の都グループ内においても、介護老人保健施設との連携により、在宅復帰が困難な患者様への介護サービス充実にも力を入れています。

また、スタッフ支援の面では、院内保育施設の充実により子育てで支援に力を入れており、その施策によってキャリアを活かして働き続けることができる女性医師や看護師も多いそうです。

こうした取り組みにおいても、民間病院としての強みである、機動力と柔軟性が発揮されているようでした。

#### 「地域医療連携」について

徳島大学病院地域医療連携センターでは、大学病院と地域の医療機関との円滑な橋渡しを目指して、大学病院での高度先進医療から、患者さんがお住まいの地域の診療機関と連携し、在宅療養へと継続できるようサポートしています。



説明は  
**佐々木 克哉** (ささきかつや) 院長

■問い合わせ  
医療法人 三成会  
水の都記念病院  
徳島市北島田町1丁目45番地の2  
tel.088-632-9299